

2021年度大学入学者選抜における評価に係る変更点について

2019年12月4日

別府大学

別府大学短期大学部

2019年9月20日に『2021年度大学入学者選抜における大学入試英語成績提供システムの利用方法について（追加予告）』を公表しておりましたが、今回本学の英語資格・検定試験の利用に係る変更および入学者選抜（一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜）における評価に係る変更点について、以下のとおり追加公表いたします。

【英語資格・検定試験利用に係る追加変更】

①英語資格・検定試験の利用の有無について

英語資格・検定試験の利用については、全学部・全学科の全ての入学者選抜（一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜）※において活用します。いずれも点数の加点であり、英語資格・検定試験の未受験者でも本学受験は可能です。

※特別選抜を除く

②利用する英語資格・検定試験の種類について

本学が利用する英語資格・検定試験の種類および点数の加点については、CEFRを参考に本学独自の基準を設けて判断していきます。本学が利用する英語資格・検定試験の種類および加点については、下記の表を参照ください。

対象資格・検定試験名	・ケンブリッジ英語検定 ・実用英語技能検定 ・GTEC (Advanced、Basic、Core、CBT) ・IELTS ・TEAP ・TEAP CBT ・TOEFL iBT ・TOEIC L&R/S&W				
評価得点（加点）	5点	10点	15点	20点	25点
資格・検定試験スコア	・ケンブリッジ英語検定 (120-139) ・実用英語技能検定準2級 ・GTEC (690-959) ・TEAP (135-224) ・TEAP CBT (235-415) ・TOEIC L&R/S&W (435-795)	・ケンブリッジ英語検定 (140-159) ・実用英語技能検定2級 ・GTEC (960-1189) ・IELTS (4.0-5.0) ・TEAP (225-308) ・TEAP CBT (420-595) ・TOEFL iBT (42-71) ・TOEIC L&R/S&W (800-1080)	・ケンブリッジ英語検定 (160-179) ・実用英語技能検定準1級 ・GTEC (1190-1349) ・IELTS (5.5-6.5) ・TEAP (309-374) ・TEAP CBT (600-795) ・TOEFL iBT (72-94) ・TOEIC L&R/S&W (1085-1285)	・ケンブリッジ英語検定 (180-199) ・実用英語技能検定1級 ・GTEC (1350-1400) ・IELTS (7.0-8.0) ・TEAP (375-400) ・TEAP CBT (800) ・TOEFL iBT (95-120) ・TOEIC L&R/S&W (1290-1390)	・ケンブリッジ英語検定 (200-230) ・IELTS (8.5-9.0)

③英語資格・検定試験のスコア提出方法について

本学が実施する一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜の各試験において、受験する入学試験の願書とともにスコアの証明書類を提出してください。

④英語資格・検定試験のスコアの有効期限について

本学が実施する一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜の各試験においては、高等学校3年次に取得したスコアに限らず、高等学校等在籍中に取得したスコアを有効とします。また、すでに高等学校等を卒業されている方については、受験年度も含めて過去3年間分のスコアを利用することが可能です。

【例：2021年度入試（注）を受験の場合】

2018年4月～2021年3月に取得したスコアが利用可能です。

（注）2021年4月入学に向けた入試を指す

【入学者選抜における評価に係る変更点】

①総合型選抜における試験内容の変更について

総合型選抜については、実施する全ての学部・学科において「口頭試問」を行います。

②共通テスト利用における英語の得点換算について

共通テスト利用（1期・2期・3期）における英語の得点換算については、リスニングを含む200点満点を100点満点に得点換算し評価に活用します。

③「調査書」および「本人の記載する資料（仮称）」の点数化について

本学の全ての学部・学科が実施する一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜の各試験においては、高等学校等から提出いただく「調査書」および志願者本人に記載してもらう資料を、受験する各学科のアドミッション・ポリシーをもとにした基準に照らし合わせ、「アドミッション・ポリシー・ポイント（APP）」として点数化し、評価に活用します。

【大学入学共通テストにおける国語記述式問題】

①共通テスト利用における国語記述問題の不採用について

2021年度以降の共通テスト利用（1期・2期・3期）においては、当初国語記述問題も判定する予定でしたが、活用しないことに決定いたしました。